

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グッドスマイル朝倉			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34家庭	(回答者数)	23家庭
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月11日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童それぞれの特性理解や個別支援、支援ツールの作成	・個別の視覚ツールや手順書を用意して、支援している。 ・支援ツールを用いる意図を意識しながら、必要に応じて改良している。	・応用行動分析や氷山モデルをさらに活用して、より特性を理解した支援を行っていく。
2	・児童に合わせたコミュニケーション方法	・本人に合わせた絵カードやリマインダーなどを作成し、要求しやすい環境を整えている。 ・対職員だけでなく、誰に対しても伝わる事を意識して、絵カードなども作成している。	・研修や事業所見学などを継続して実施し、児童に合ったコミュニケーション方法を探していく。
3	・児童に合わせた余暇支援	・外出支援やクッキングなどイベントを毎月設定して行っている。 ・レクリエーションを計画的に実施している。	・おもちゃの購入や運動レク、制作などを新たに企画し、子どもたちの余暇の幅が広がるように継続して行っていく。 ・児童も交えて、計画・準備・実施までを一緒に行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・就労に向けた個別課題類	・児童が作業所実習に行く前に、事前に課題で用意したいが、バリエーションがまだ少ない。	・課題量を増やし、実際の就労時に近い環境設定なども行っていく。
2	・保護者さんへの支援方法の伝達	・口頭での伝達が多いため、詳細が伝わりにくいのでは。	・支援方法を具体的に伝えていけるように、資料作成や動画撮影などをより計画的に行う。 ・家庭での般化に向けて、保護者にも段階的に支援内容なども共有出来るように支援していく。
3	・集団活動や地域交流	・個別の活動が多いため、集団での活動は少なくなっている。 ・地域で行われている催しに参加させてもらっているが、まだ認知度は低い。また、回数は限定的である。	・個別の特性も踏まえた上で集団活動を提案し、社会に出た時を見据えた支援を行っていく。 ・より地域との交流が深まっていけるように、情報を発信し、他事業所とも合同で行えるイベントとも計画していく。